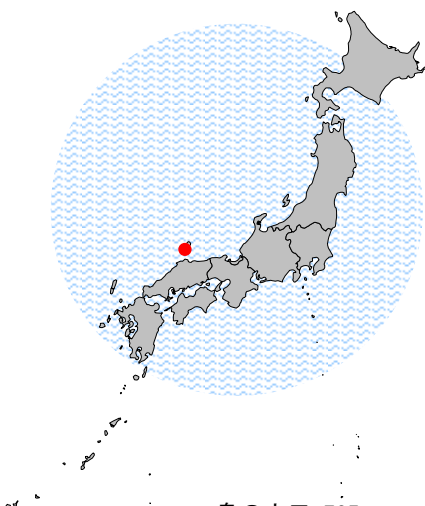


# 輪転式牧畑の名残を残す赤ハゲ山

知夫里島 (ちぶりじま)



【場所】島根県知夫村  
赤ハゲ山

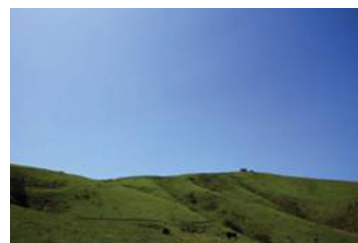


島の人口: 725人  
島の面積: 13.7 km<sup>2</sup>  
(平成17年国調)

知夫里島の最高峰、標高325mの赤ハゲ山の山頂からは、青い海と空、緑の草原の大パノラマを体感できます。赤ハゲ山の名前の由来は土壌が赤く、木のないことから言われています。かつて、島では土地を農畜産に効率よく使うため農地全体を4つの牧に分け、牛馬の放牧、穀物生産など1年周期で順番に回転させて利用していました。現在、畑としての利用はほとんどなくなりましたが、放牧は今でも続けられており、昔の人が牧の境界として積んだ石垣と草原、さらに牛たちが、知夫里島ならではの牧畑景観を形づくっています。

写真上: その昔、人の手によって作られた石垣(牧の境界線)

写真右: 木がないことで稜線がくっきりとわかる



問い合わせ先: 国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内33-144) 直通 03-5253-8421